

後期終業式

おはようございます。

1、2年生の皆さん、進級おめでとうございます。

この1年間はどんな1年でしたか？ 良いことも嫌なこともあったと思いますが、1年間で素直に振り返って欲しいと思います。

さて、春は出会いと別れの季節です。3月1日に74期生の卒業式を行いました。今年は357名が泉陽を旅立ちました。卒業した3年生、本当によく頑張ってくれました。国公立大学では大阪大学や神戸大学をはじめ、北は北海道大学から南は九州大学・熊本大学までそれぞれが希望した大学へ進学を決めました。私学でも法政大学、青山学院大学、東京理科大学などの難関私立大学をはじめ、様々な大学に合格しています。受験勉強で一番大切な「最後まであきらめない力」が74期生にはあったと思います。

泉陽高校での毎日は、本当に忙しい。しかし、その中で毎日、自分が出来ることに真摯に向き合い、全力で取り組む。それを積み重ねることで成長していく。74期生はそうして成長しました。学年末にあたり75・76期生の皆さんも出来ているかどうか自問自答してみてください。

今日は皆さんに、隙間時間の使い方と、成人年齢引き下げについて話したいと思います。今年度、校舎内を巡回していて、気になったことがあります。それは、休み時間の景色が変わってきたという事です。昨年度までは、皆さんの休み時間の様子を見て、次の時間に小テストがある事が予測できました。それは、小テストに備えて休み時間にプリントなどで確認をしている人が多くいたからです。また、放課後は部活に時間を使うので、昼休みに宿題をしている生徒もいました。ところが今年度は、男子は友達同士でオンライン・ゲーム、女子はSNSや動画の視聴、という姿をよく見かけました。もちろん、単語帳や教材プリントを観ている生徒もいます。休み時間は、7時間授業の日なら、昼休みを入れると95分です。月曜から金曜までで、475分(約8時間)にもなります。もちろん気分転換はとても大切ですが、その方法が問題です。休み時間が1週間~1か月と蓄積していくと、その差は取り返しのつかないほど大きなものとなります。重要なポイントは、休み時間に何をするか？どのように休み時間を活用するか？の2点です。休み時間(隙間時間)ができたときに何をするかを、あらかじめリストアップしておき、その優先順位を決めておくことです。学習や読書などを小刻みに積み重ねて、73期生や74期生が隙間時間をうまく使っていたように皆さんも隙間時間を上手に使ってください。それが、進路実現に必ず繋がります。

2つ目は、成人年齢の引き下げについてです。民法の改正により、2022年4月から成人年齢が18歳に引き下げられ、クレジットカードや携帯電話、ローンの契約などが本人の意思により結ぶことができるようになります。75期生は4月生まれの人は1か月以内に、76期生も1年後には成人になります。「たくましく生きる力」を身に付けるためには、「金利の仕組み」や「株式会社」など、金融や経済の知識を学ぶ必要があります。本年度の大学共通テストでも、新聞の経済に関するニュースを活用した問題が出題されています。各教科やHRなどを活用して金融に関する学習を実施する予定ですが、皆さんも、自分自身を守るために、いろんな手法で正しい知識をしっかりと身につけましょう。

明日から、春休みに入ります。少しホッとしたいところですが、新学期からではなく、今のこの瞬間から各自がすべき事を始めてください。1分でも1秒でも早くスタートした方が、言い換えれば、早く気づいた方にアドバンテージがあります。自分自身に負けないという強い思いを胸に、**楽しみながら**勉強や部活動に励んでください。応援しています。

以上で私のあいさつとします。